

## 原子炉利用研究者グループ総会 議事録（案）

日時 平成 28 年 2 月 2 日（火） 12 : 00 ~ 13 : 00

場所 京都大学原子炉実験所 図書棟会議室

出席者

（名古屋大）瓜谷章（大阪府立大）松浦寛人（名誉会員）皆川雅朋、堀均  
（京大炉）櫻井良憲、増永慎一郎、田中浩基、高宮幸一、藤井俊行、  
大槻勤、高橋千太郎、斎藤毅、木梨友子

### 配布資料

- 平成 27 年会計報告/平成 28 年予算（案）
- 平成 28 年 1 月 25 日 原子炉利用研究者幹事会 議事録（案）
- 京都大学原子炉実験所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合わせ

### 議題

1. 櫻井代表幹事（海老原総務幹事代理）から開催の挨拶があった。
2. 平成 27 年会計報告  
増永会計幹事から平成 27 年会計が報告された。異議はなかった。
3. 平成 28 年予算（案）  
増永会計幹事から平成 28 年予算（案）が説明された。異議はなかった。
4. 「京都大学原子炉実験所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合わせ」の改正について  
櫻井総務幹事から、「京都大学原子炉実験所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合わせ」の改正について、配付資料に基づいて説明があった。意義はなかった。
5. 来年度の幹事の選挙方法の見直しについて  
櫻井総務幹事から、原子炉利用研究者グループ幹事の選挙方法の見直しについて、幹事会の議事録に基づいて説明があった。「1 次選挙として、設定した専門分野ごとに 2 名の投票を行う。次に、1 次選挙で設定得票数以上を獲得した被選挙人に対して分野をまたいだ 2 次選挙を行う。2 次選挙の結果に従い幹事を選出する。」という選挙方法の提案が説明された。この方法で選挙が実施される場

合は、施行時期を十分に考慮し、前回の選挙日程なども参考としつつ行う必要性があり、専門分野の分け方等については議論が継続されると説明された。

#### 6. 名誉会員の推薦について

所内の退職者予定者である福永俊晴教授、森義治教授、今中哲二助教を名誉会員に推薦者が決定された。名誉会員にふさわしい所外の研究者がいる場合は、随時、事務局に連絡すること。期限などは設けていないと説明された。

#### 7. その他

- 増永会計幹事から、今後、将来計画短期研究会のプログラムに原子炉利用研究者グループ総会を正式に組み入れるように協議員懇談会へ要望を出してはどうかとの提案があった。他の幹事から、学術講演会の方が原子炉利用研究者の出席人数が多いので、学術講演会の際に総会を開いてはどうかとの提案が出された。さらなる議論の後、原子炉利用研究者グループ総会を将来計画短期研究会もしくは学術講演会のいずれかに正式に組み入れるよう要望を出すことになったと説明があった。質疑などはなかった。
- 櫻井総務幹事から、原子炉利用研究者グループの予算状況を鑑み、原子炉利用研究者グループ総会の際の弁当の無料提供の廃止の提案があり、了承された。
- 櫻井総務幹事から、共同利用宿泊所での外国人研究者への対応に関して改善の必要性がある旨の状況説明があった。この件については運営委員会・協議委員会（H28.1/25）において杉山幹事から外国人宿泊者に対する対応を改善するよう要望されたと報告があった。
- 高宮幹事から、共同利用者宿泊所の喫煙所および駐輪所の整備と新しい自転車5台の購入計画について説明があった。

以上

書記：木梨